

高強度保水性緑化ブロック

TURFMAKE

ターフメイク



サンヨー宇部株式会社

大型車の走行に耐え、保水性機能を有す2タイプの緑化ブロックを開発 植生土壌に竹炭を配合することで、水やりが軽減され芝の生長と耐久性に優れます

ターフメイクの特長

大型車が走行可能

大型車の荷重に耐える高強度保水性ブロックを開発。
大型車走行試験で耐久性を実証。

緑化率 65%

緑化ブロックでトップクラスとなる、65%の高い緑化率を実現。
独自の突起形状で芝の連続繁茂と保護に優れます。

ヒートアイランド抑止とCO₂削減効果

竹炭と組み合わせて芝を植生させることで水やりが軽減され、
ヒートアイランド防止とCO₂削減効果が期待できます。

工期短縮（マットタイプ）

工場でユニット化されたマットをシート単位に敷設する効率施工で
工期短縮が図られます。

ILRブロックタイプ

従来のインターロッキングブロックと
同様の対応製品



ILRブロック



人力で敷設

マットタイプ

施工性に優れた大規模整備向け製品
幅 1.2m（標準）、長さは 2.0m～8.0m の間で設定可能



SRブロック



SRブロックをシートに接着固定



クレーン車でシート単位に敷設

緑化率 65%

表面の突起部周辺に芝が連続繁茂することで緑化率65%をカバー。



ILRブロックタイプ



マットタイプ

芝植え作業

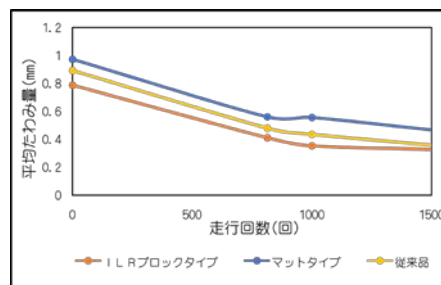
一定幅にカットした芝の連続敷設で、
芝植えの作業効率を改善。



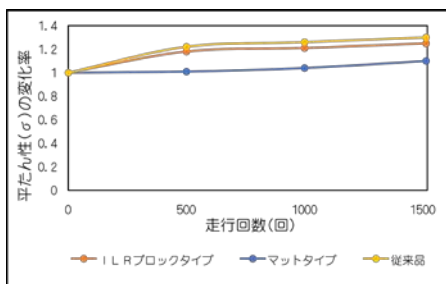
大型車走行に耐える強度

高強度保水性ブロックの特許出願済

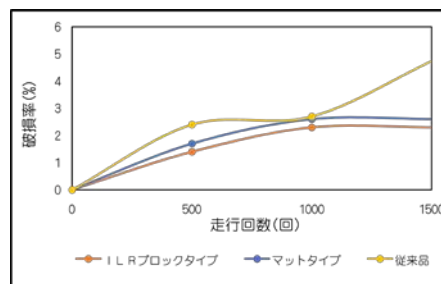
大型ダンプ車（総重量約 22 トン）にて 1,500 回以上の走行試験を実施。路面性状と舗装支持力を測定し、大型車走行に対する耐久性を実証。



ILRブロックタイプは、たわみ量が小さく舗装支持力が高い。



マットタイプは平坦性が良好。

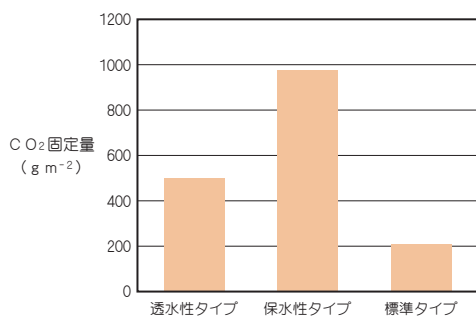


新開発ブロックの破損は走行回数の増加に対して発生が収束する傾向を示す。（破損は軽微な角欠けのみ）

保水性ブロックの効果

CO₂ 固定と温度上昇抑制効果

広島大学・株式会社西条庭園・サンヨー宇部株式の共同研究で、保水性ブロックは透水性・標準タイプに比べて芝の生長が良好で、CO₂ の固定量が 1.7 ～ 4.9 倍高く、駐車場の温度上昇抑制効果が大きいことを実証。

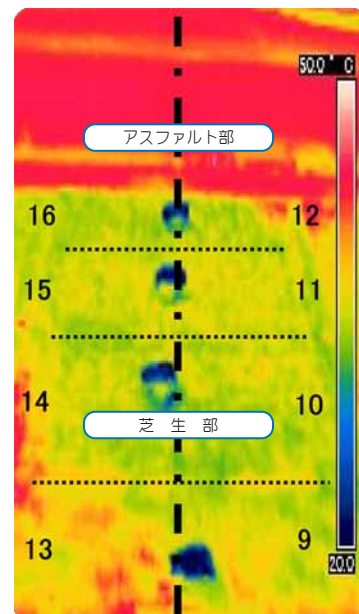


8月17日から9月26日の1か月間で各ブロック工区の芝生が吸収したCO₂の固定量

駐車場 100 m² (8 台分) の芝緑化により、5.5 か月間で約 0.55 トンの CO₂ 固定が可能（理論値）



温度差 19.6 °C



赤外線サーモグラフィ カメラ映像
9月10日撮影

優れた保水機能

1 m² 当たり ILR ブロックタイプで 12 ㍓以上、マットタイプで 9 ㍓以上の水を吸収保持します。竹炭との相乗効果で水やりが軽減され、芝の生長と耐久性に優れます。

保水性ブロックの吸い上げテスト



ブロックの品質規格

試験項目	測定値		規格値
	ILRブロック	SRブロック	
圧縮強度 (N/mm ²)	42.2	40.6	32.0 以上
保水量 (g/cm ³)	0.18	0.17	0.15 以上
吸い上げ高さ(%)	92.2	97.7	70.0 以上

● 竹炭の効果

竹炭は微細な多孔質構造で保水力が高く、アルカリ性で抗菌と酸性雨を中和する効果があります。

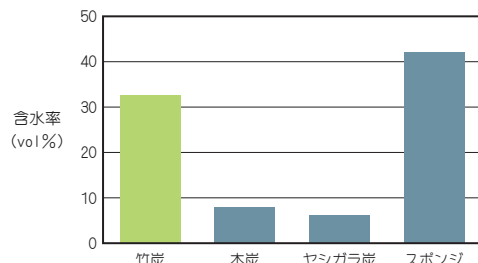
竹炭と肥料を混合した専用培養土（※）を植生土壤に配合することで芝生の生育が向上し夏季の乾燥に耐えます。

※ 専用培養土（33 ㍑袋入り）を植生土壤（山砂等）に 15% 配合します。

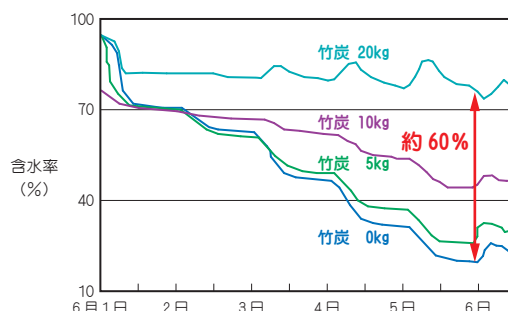


● 竹炭の保水力・貯水力

竹炭は微細多孔質構造（無数の孔の集合体）の為、スポンジに近い保水力があります。100立方センチメートルの竹炭は、20～40立方センチメートルの水を蓄えることができ、また一度貯水した水分を調整しながら放出します。



広島大学屋上での土壌含水率研究成果実験



広島大学の屋上で、竹炭の含有量による土壌内保水力の変化を調査したところ、晴天が続く無灌水の状況の中で試験を行いました。竹炭 20kg の場合、調査から 6 日後でも含水率はほとんど変わらず、高い保水力を示しています。

● 舗装面への直置き施工



マットタイプはアスファルト舗装面への直置き施工が可能

● 工場立地での特定工場の緑地義務

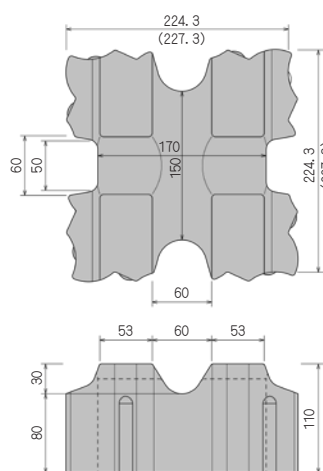
工場立地法では一定規模以上の特定工場は敷地面積に「緑地」を設けることが義務付けられています。

- ・工場立地法では駐車場緑化も緑地と見なされます。
- ・既存の駐車場を緑化することで、敷地を拡張することなく、建物施設の増設が可能となります。
- ・製造業、電気ガス、熱供給業で敷地面積 9,000 ㎡以上または建築面積 3,000 ㎡以上の特定工場が対象となります。

● 形状寸法図

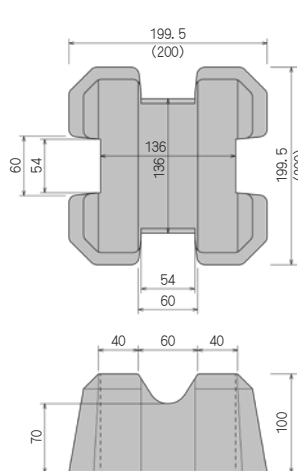
※ () 内は、目地込み標準割付寸法です。

ILRブロック



参考重量：9.1 kg/個

SRブロック（マットタイプ）



参考重量：5.1 kg/個

使用材料 (m2 当り)	
ILRブロック	19.4 個
客土	0.028 m3

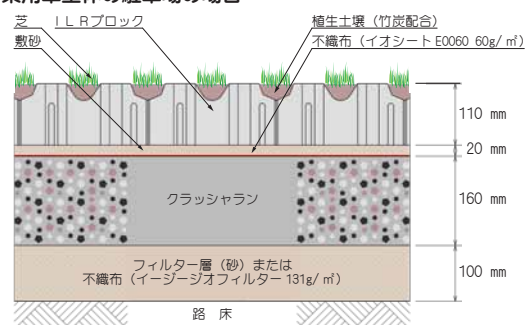
使用材料 (m2 当り)	
SRブロック	25.0 個
客土	0.036 m3

標準色はグレー色です。

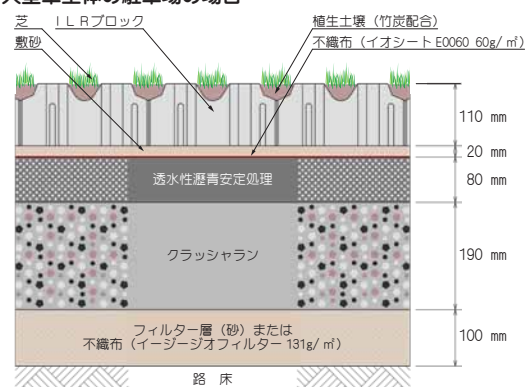
● 舗装構造例

※ ILRブロックタイプでの構造図です。マットタイプは製品厚が 100 mm となります。

■ 乗用車主体の駐車場の場合



■ 大型車主体の駐車場の場合



サンヨー宇部株式会社

〒753-0871 山口県山口市朝田 1091-1
TEL. (083) 922 - 3512 FAX. (083) 922 - 3641
URL. <http://www.sanyo-ube.co.jp>
E-mail. info@sanyo-ube.co.jp
(営業所) 山口中部・山口西部・山口東部・広島

取扱店